

絵のリレー ～2年目の挑戦～

金沢市立犀川小学校 有馬佳子

絵のリレーに参加するのは2年目になります。6年生60名が図画工作の授業の1つとして3時間かけて取り組みました。この6年生は、昨年は「パラパラアニメ～〇〇の気持ち～」に参加していた子どもたちです。

まずは「種の絵」の鑑賞から始めました。「色がきれい」「並べ方がおもしろい」などなど・・感想を出し合ってから、種の絵につながる2世代目の絵を全員で考えました。これは、紙の上で鉛筆で描きましたが、これが発想の練習にもなりました。このアイデアスケッチの中から学校代表の絵を選びました。選ばれた子はここで初めてコンピュータに向かいました。Photoshop Elementsは体験済みでしたので、スイスイ描き上げていきました。ここまでが1時間目の活動です。次の週に2時間かけて全員が絵のリレーに取り組みました。今回は特に条件を付けませんでした。つなげたい人の絵の一部を使ってもいいし、つなげたい絵から連想して絵を描くこともしました。

子どもたちにとってやはりアイデアを考える事が一番たいへんだったようです。描いたり消したり（コンピュータはこれがすぐできるので便利！）試行錯誤の連続でした。本校はインターネットの環境は十分とは言えませんが、2年目なので、昨年つまづいた箇所を教師側が事前にチェックし、それなりの対応をしましたので、トラブルもなく全員スムーズに登録ができました。出来上がった作品は、けっこう手の込んだ作品が多くみられました。興味を持った子は家で絵を描き、登録したようです。やはり子どもたちが一番喜んだものは、絵がネット上の絵につながって画面上にあらわれた時でした。ずいぶん後に1度マップを見せると大きく広がっているのに驚いていました。また、自分の絵に誰かがつなげてあるとうれしかったようです。ここで、じっくりマップの見取りを行えばよかったのですが、どうしても時間がとれずに終わりになってしまったのが残念でした。子どもたちには卒業記念のCDに絵のリレーのURLを入れて渡しました。また、家から挑戦してくれるでしょうか。

今年度、取り組んでみて、昨年以上に「絵のリレー」の奥の深さを感じました。教師の持って行きようで、気軽な取り組みにもなるし、また、一つ一つの絵が質の高いものにもなるようです。図画工作科の中の1つの題材として十分な学びのある活動になると思います。

これから「絵のリレー」がどのように進化し続けるのか楽しみです。



活動の様子



子どもたちの絵